

校区の概要

- ① 本校は、明治19年木太村立木太小学校として発足して、現在の位置に校舎ができ、124年の歴史と伝統をもつ。
- ② 市内最大規模であったが、昭和52年に高松市立木太南小学校、平成2年に高松市立木太北部小学校と三つに分離した。
- ③ 木太地区13,477世帯（人口31,736名）のうち、木太小学校区は、4,317世帯（人口9,906名）である。（平成22年4月1日現在）
- ④ 校区には、県道・琴電長尾線が通り交通量が多く、平成5年には、室町新田線道路も開通した。昭和41年に交通安全優秀校に選ばれて以来、交通安全に対する意識が強く伝統的に集団登校で交通安全対策を図っている。
- ⑤ 子ども会育成会活動やスポーツ少年団活動が活発であり、地域の教育熱は高い。転出入児童も多く、連帯意識や児童のつながりについてはやや薄い面がある。しかし、自治会事業や町おこし事業「あまから水まつり」の実施など、木太地区あげての連帯意識が高く、学校への期待も大きい。
- ⑥ 木太北部小学校通学区域の一部修正に伴い、高須地区が木太小学校区に修正された。実施時期は、平成18年4月1日からである。ただし、希望すれば平成17年4月1日から入学又は転入できることとなっていた。